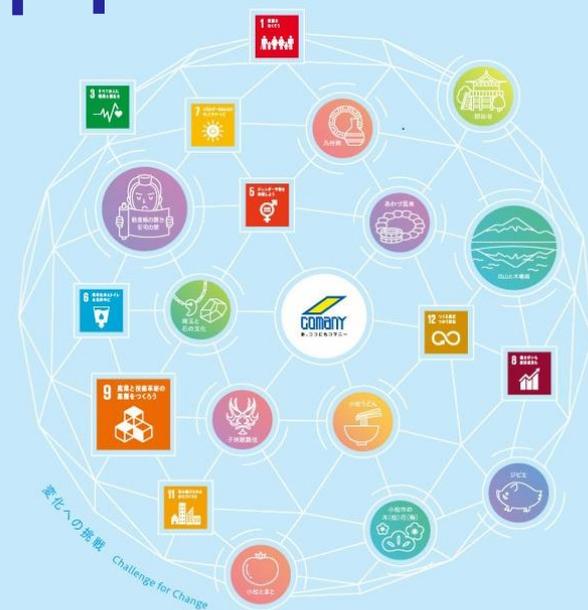


2021年3月期第2四半期 決算説明資料



● 事業内容	P.1	● 重点施策	P.20
事業内容	P.2	今後の取り組み	P.21
納入事例	P.3	新商品	P.22
● 2021年3月期第2四半期 連結業績の実績	P.4	重点施策 オフィス市場	P.27
2021年3月期第2四半期 実績	P.5	重点施策 工場市場	P.28
売上高の増減分析	P.6	重点施策 医療・福祉市場	P.29
営業利益の増減分析	P.7	重点施策 学校市場	P.30
市場セグメント別 売上高	P.8	重点施策 高耐震間仕切 Synchron	P.31
財政状態	P.9	災害時リスク軽減への取り組み	P.32
キャッシュ・フロー	P.11	● サステナビリティ	P.33
● 2021年3月期 連結業績の予想	P.12	コマニーSDGs [∞] （メビウス）モデル	P.34
パーティション市場の動向	P.13	コマニーの価値創造	P.35
市場セグメント別 受注残高	P.14	2030年に向けて目指す姿	P.36
新型コロナウイルス感染症による影響	P.15	● 参考資料	P.37
連結業績予想	P.16	社是・経営の理念	P.38
売上高の増減要因（通期予想）	P.17	会社概要	P.39
営業利益の増減要因（通期予想）	P.18	沿革	P.40
設備投資計画	P.19	連結業績の推移（売上高・営業利益）	P.41

事業内容





オフィス



工場・研究・生産施設

パーティションのリーディングカンパニーとして
お客様のそばにも常に当社の商品があり、
誰もが心地よく感じるような空間を提供する



学校・教育施設



医療・福祉施設



公共・文化施設



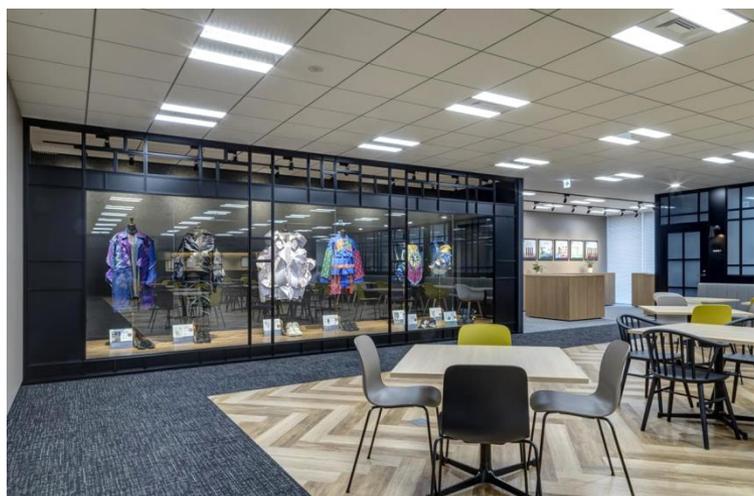
成田国際空港第一旅客ターミナルのトイレブース
(Dear-d)

※2016年グッドデザイン賞受賞の
ユニバーサルデザイン商品



三井不動産株式会社様
(ブリディア)

意匠性、機能性を高い次元で実現する
ガラスパーティション



YKK株式会社様の自社商品展示スペース
(KOUSHI)

魅せながら空間を区切るデザイン
パーティション



2021年3月期 第2四半期 連結業績の実績

2021年3月期 第2四半期 実績

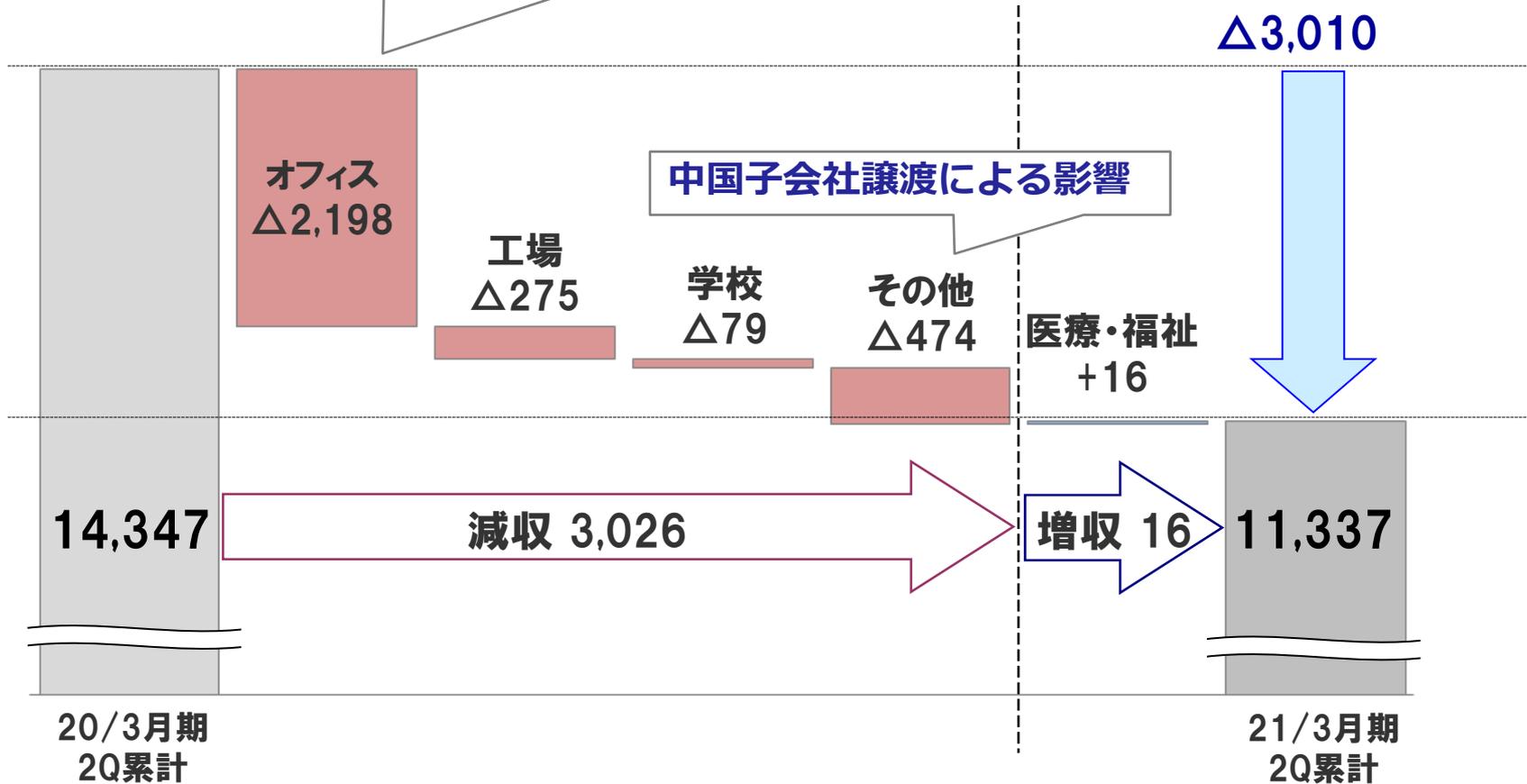
(単位:百万円)

	20/3月期 2Q累計	21/3月期 2Q累計			
		計画	実績	対前期	対計画
売上高	14,347	11,800	11,337	79.0%	96.1%
営業利益	△ 31	△ 500	△ 573	△ 542	△ 73
営業利益率	—	—	—	—	—
経常利益	△ 54	△ 450	△ 421	△ 367	29
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 122	△ 350	△ 328	△ 205	22
1株当たり 四半期純利益(円)	△ 13.82	△ 39.31	△ 36.93	△ 23.11	2.38
1株当たり 配当金(円)	26.00	15.00	15.00	△ 11.00	0.00
フリーキャッシュ・フロー	2,292	—	2,780	121.3%	—

売上高の増減分析

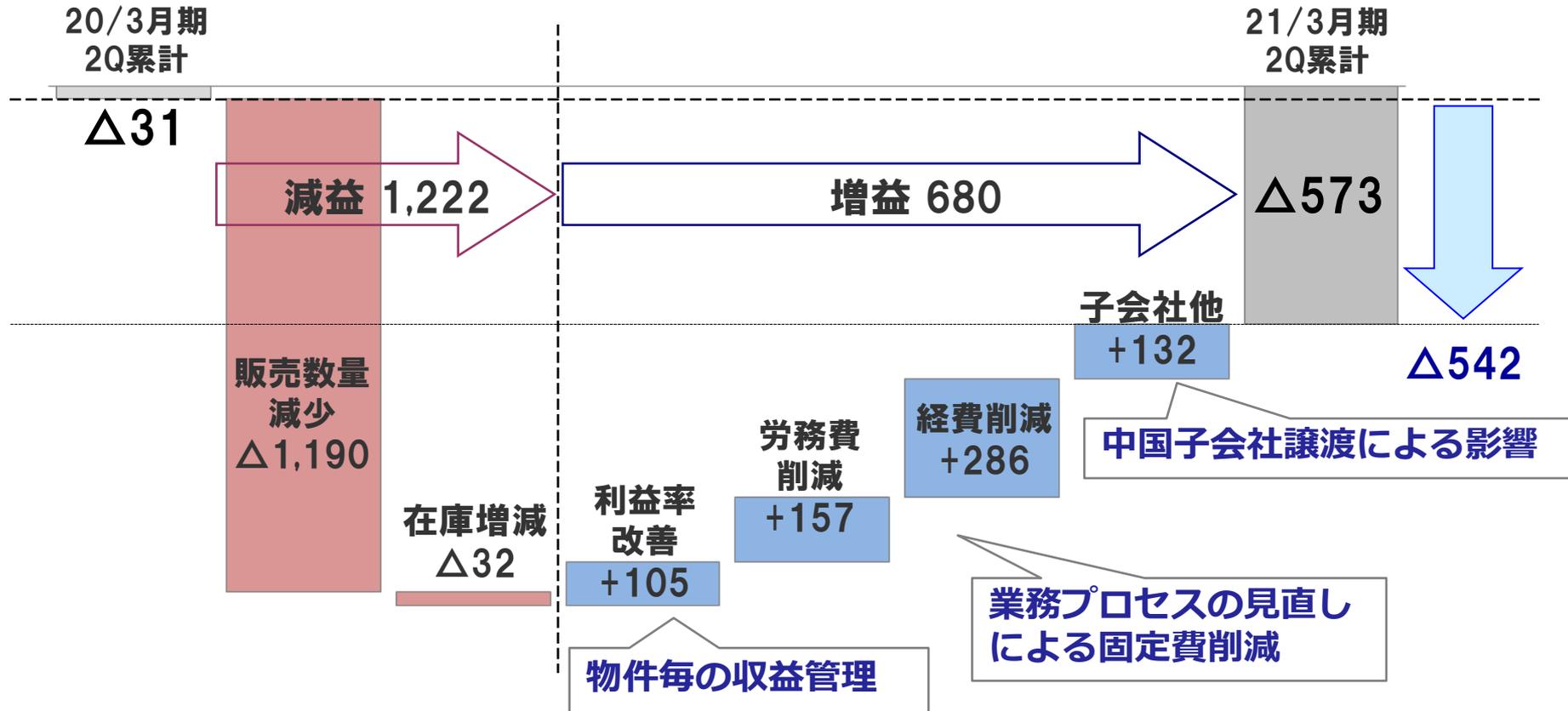
(単位：百万円)

投資を控え今後の動向を様子見する動き



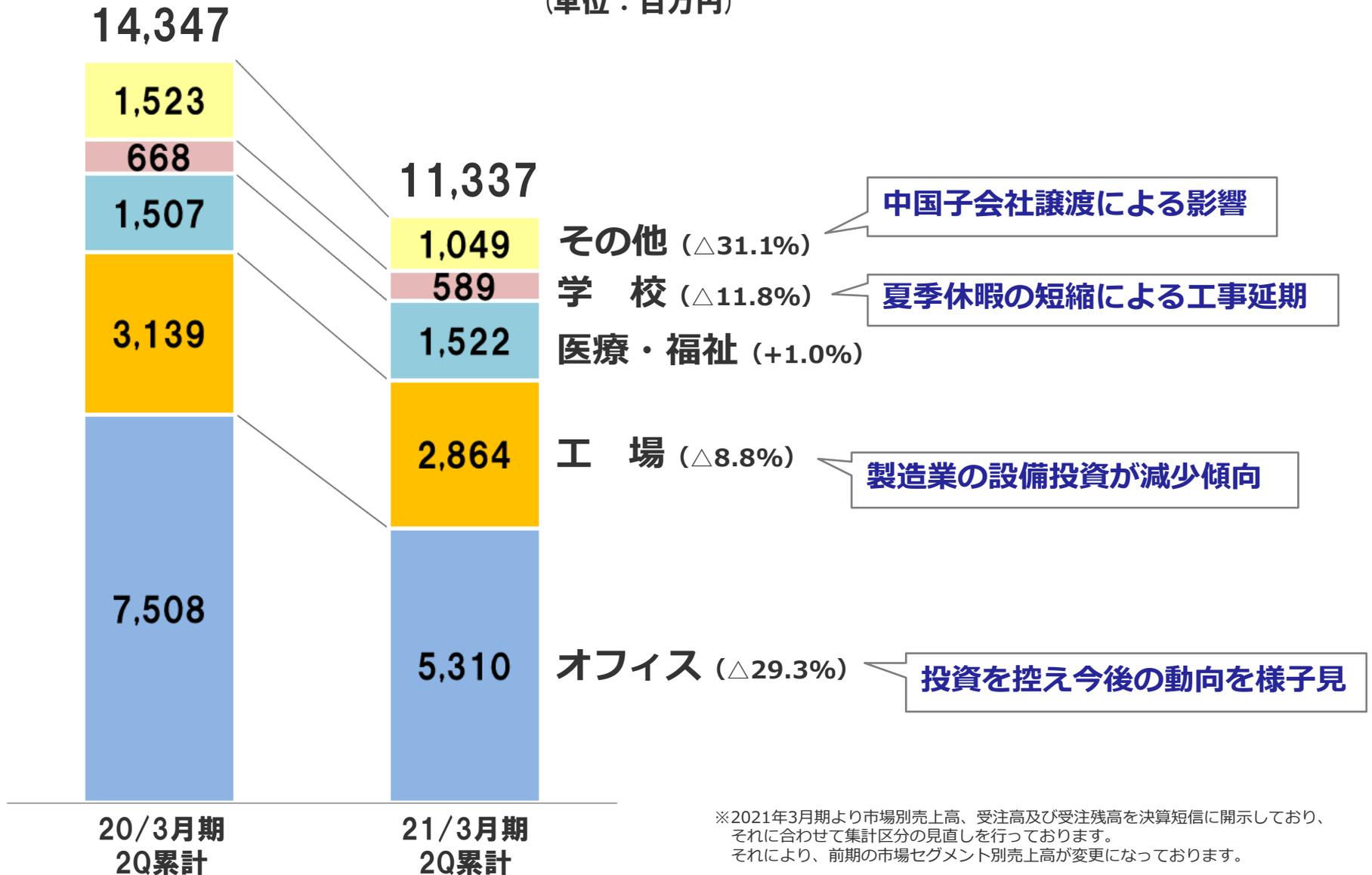
営業利益の増減分析

(単位：百万円)

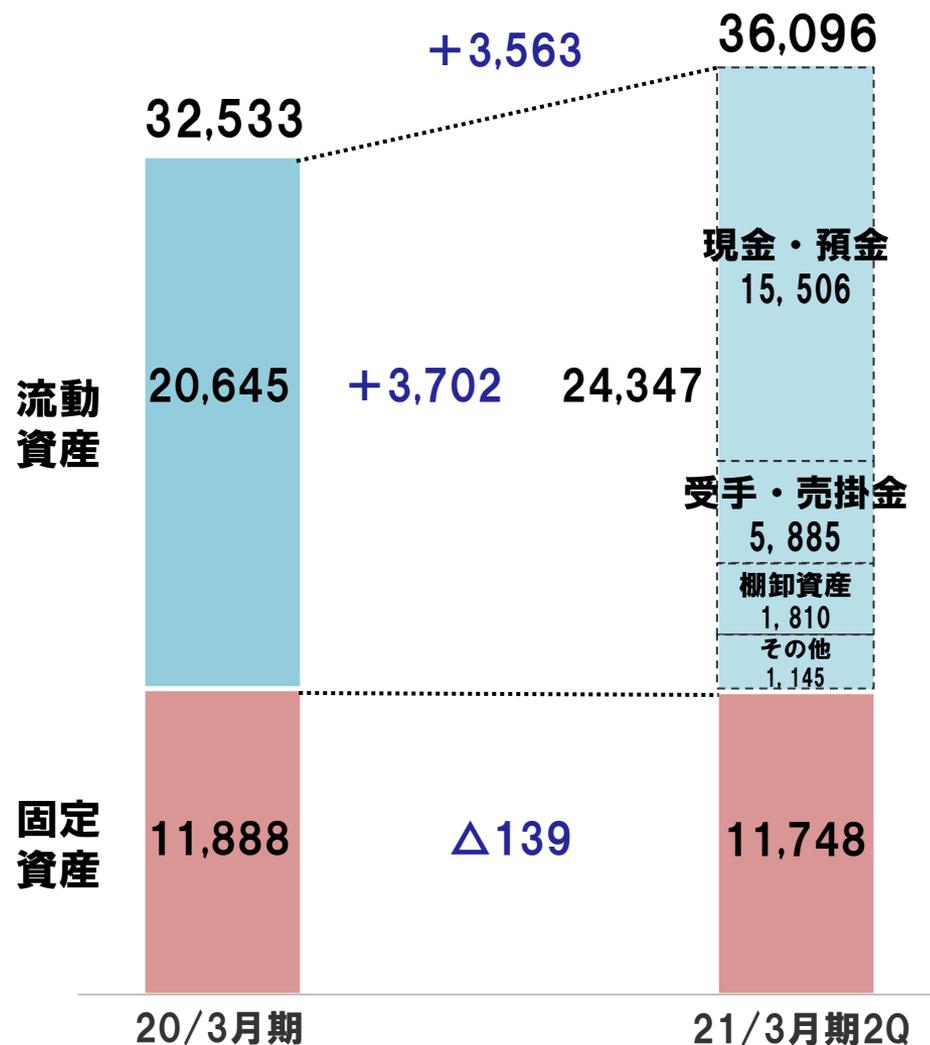


市場セグメント別 売上高

(単位：百万円)



総資産 (単位：百万円)



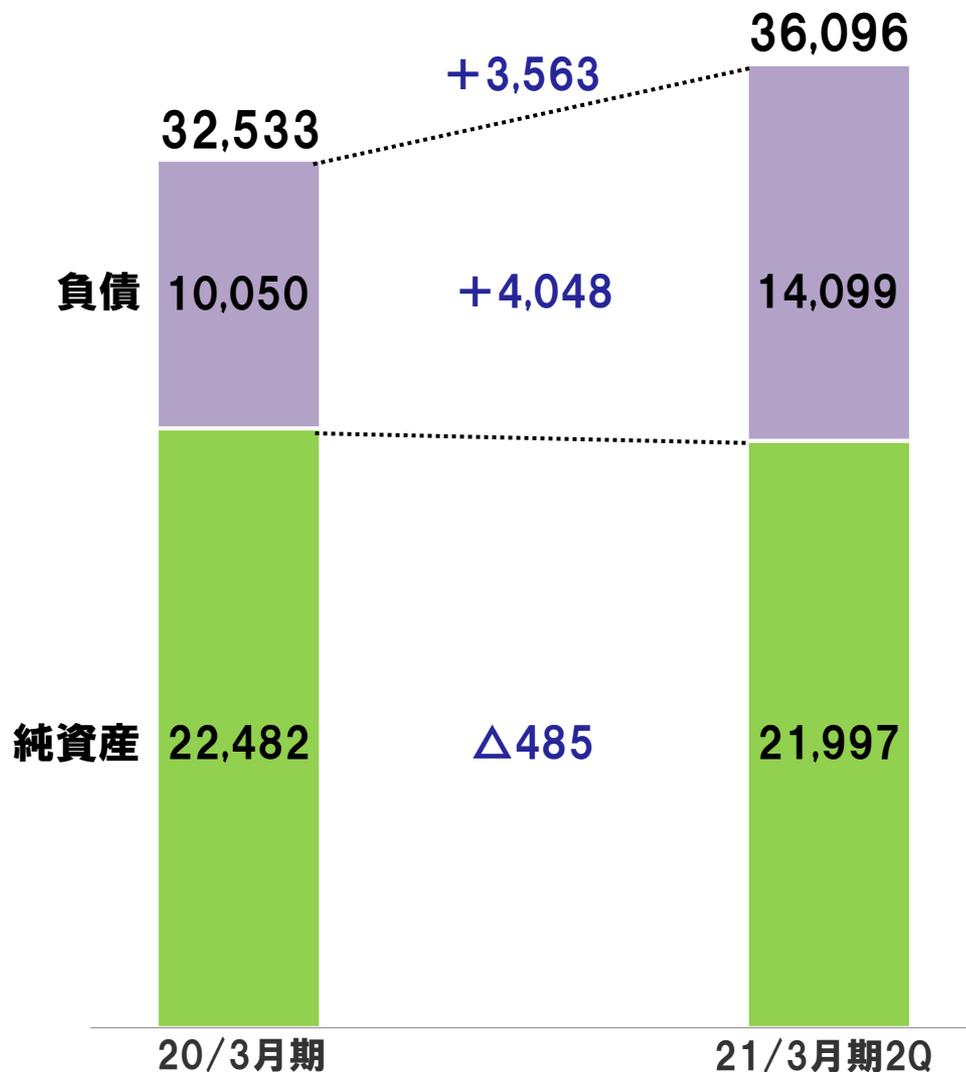
主な増減

- ・ 現金・預金 +7,270
- ・ 商品・製品 +260
- ・ 受手・売掛金 △3,824

主な増減

- ・ 設備投資 460
- ・ 減価償却費 △376
- ・ 投資その他の資産 △222

負債・純資産 (単位：百万円)



主な増減

- ・借入金 +4,750
- ・買掛金 △475

主な増減

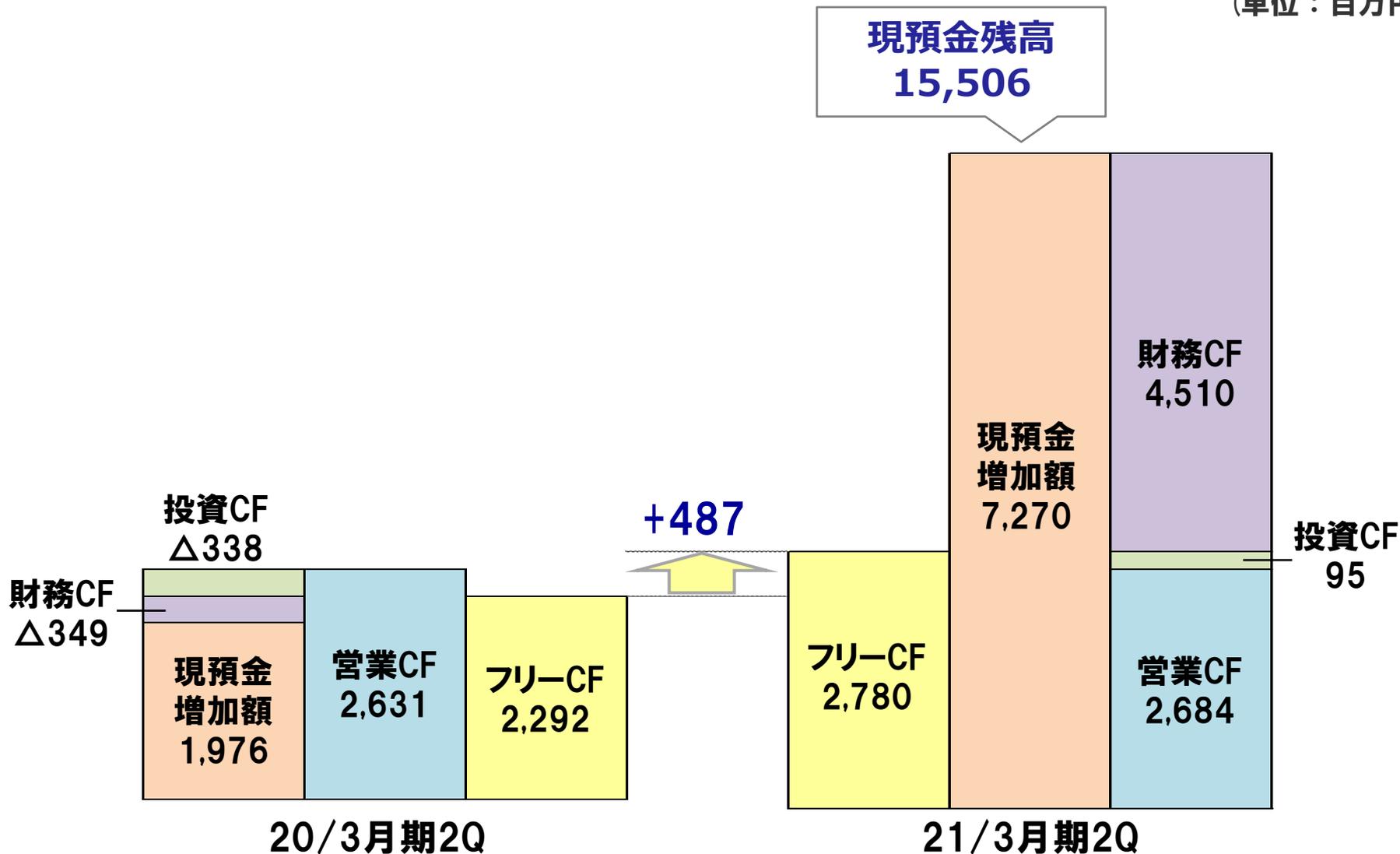
- ・利益剰余金 △557

自己資本比率

60.9% (△8.2pt)

キャッシュ・フロー

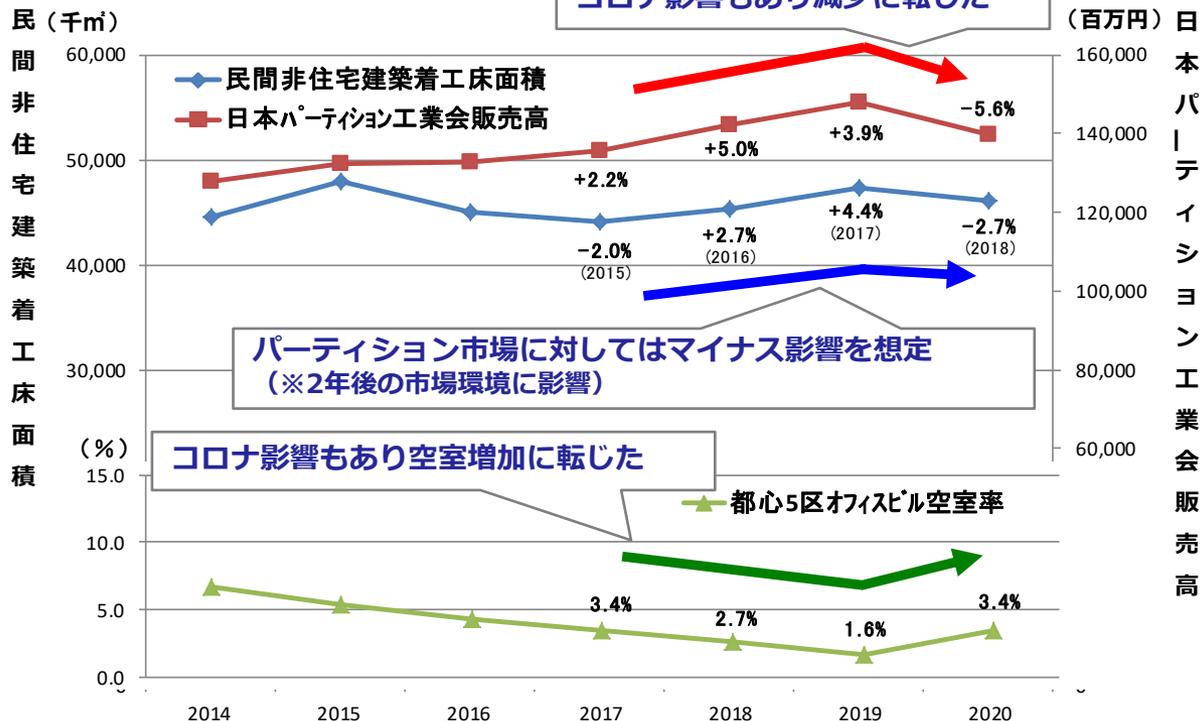
(単位：百万円)



2021年3月期 連結業績の予想



パーティション市場の動向



コロナ影響もあり減少に転じた

パーティション市場に対してはマイナス影響を想定
(※2年後の市場環境に影響)

コロナ影響もあり空室増加に転じた

■ 主な指標

- 日本パーティション工業会販売高
- 民間非住宅建築着工床面積
- 都心5区オフィスビル空室率

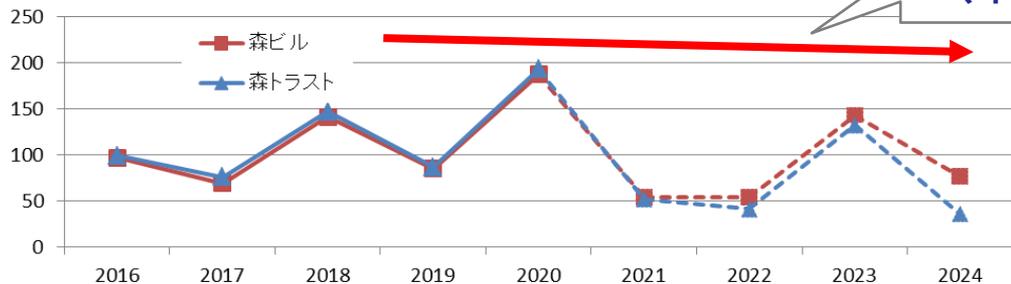
民間非住宅建築着工床面積
2012~2018年まで3月時点の年計
⇒「民間非住宅建築着工床面積」の推移が2年後のパーティション市場に影響する想定

日本パーティション工業会販売高
2014~2019年までは12月時点の年計
2020年は9月時点の年計

都心5区オフィスビル空室率
2014~2019年までは4月時点の実績
2020年は9月時点の実績

- ・ 2020年には2019年の2倍以上の供給量
- ・ 2020年~2024年の供給量は過去平均と同等から若干のマイナスを予想

東京23区大規模オフィスビル供給量調査

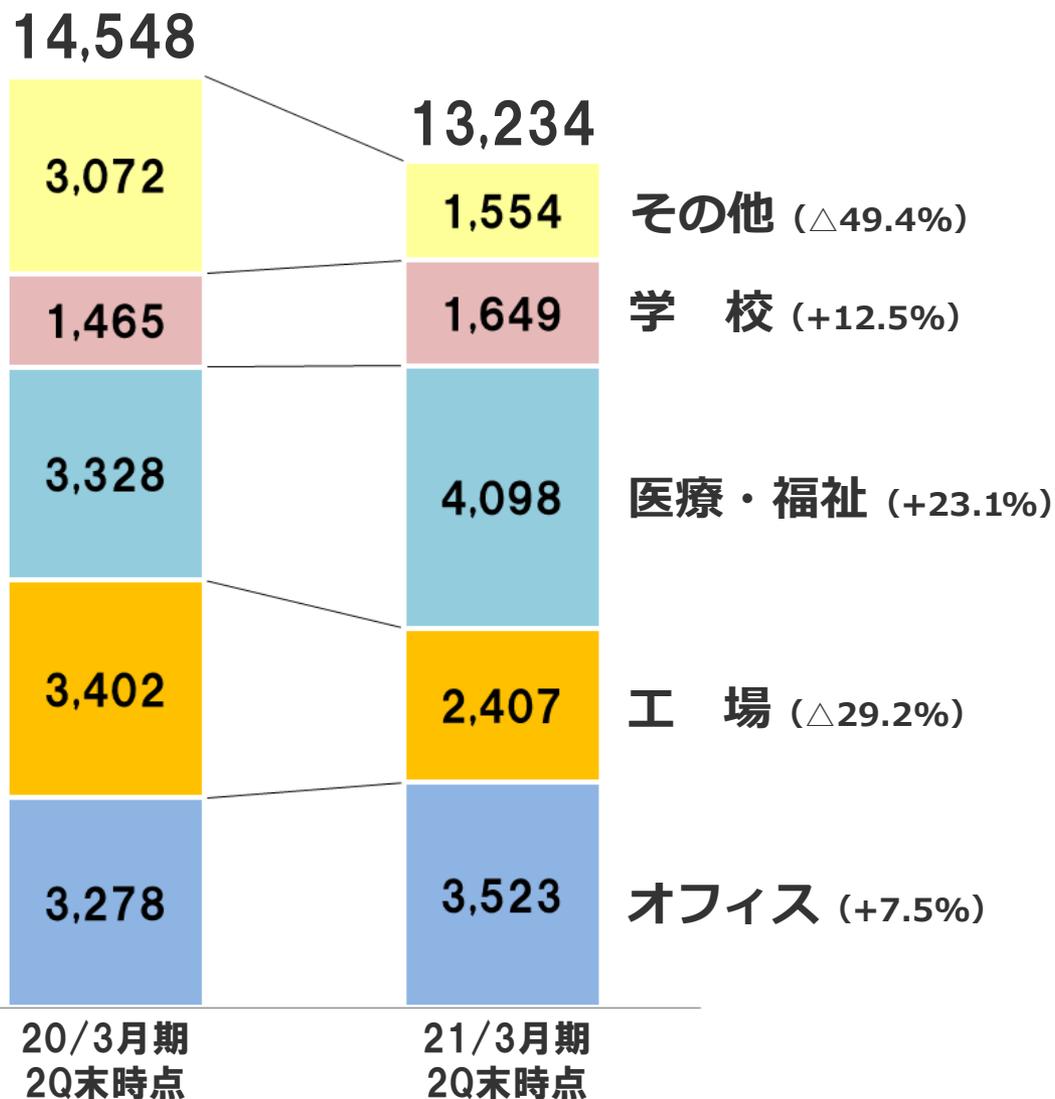


【参考】

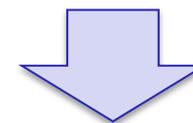
- 民間非住宅建築着工床面積
http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku_list.html
- 日本パーティション工業会販売高
<http://www.jmpa.info/jmpa/index.html>
- 東京23区大規模オフィスビル供給量調査
<https://www.mori-trust.co.jp/pressrelease/2020/20200618.pdf>
https://www.mori.co.jp/img/article/200525_1.pdf

市場セグメント別 受注残高

(単位：百万円)



景気後退の影響もあり、全体として受注残の減少はあるものの、オフィス市場、医療・福祉市場、学校市場においては前期比増



需要そのものが無くなったわけではなく、様子見や延期により需要が後半にずれ込む傾向

● 上期の状況

- ・ 経済活動の縮小による企業の設備投資の減少
- ・ パーティション工事の中止や様子見、延期の動き

● 下期の見通し

- ・ 行動制限も緩和され、経済活動レベルも徐々に回復
- ・ 新型コロナへの感染リスクは継続

⇒ 『Withコロナ』環境における新たな空間価値の提案

(感染予防、働く場所の多様化、オンラインツール活用)

- ・ 市場に求められる新たな価値の創造により事業のさらなる充実を図る
- ・ 株主様への還元、従業員の物心両面の幸福、社会貢献活動などを通じ、貢献の循環が生まれるよう努める

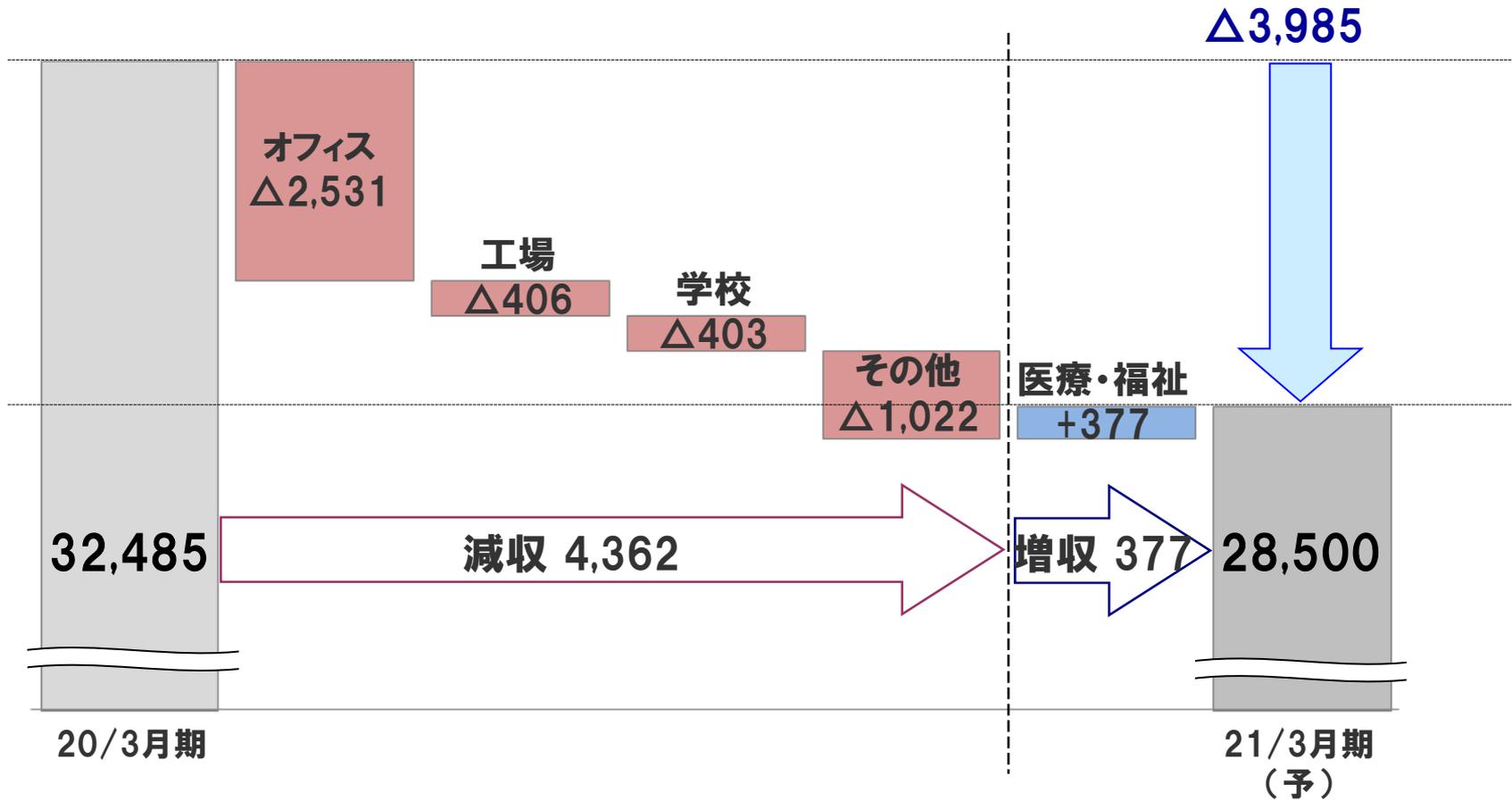
連結業績予想

(単位:百万円)

	20/3月期		21/3月期		
	2Q累計		2Q累計	予想	対前期
売上高	14,347	32,485	11,337	28,500	87.7%
営業利益	△ 31	1,715	△ 573	800	46.6%
営業利益率	—	5.3%	—	2.8%	△ 2.5pt
経常利益	△ 54	1,566	△ 421	850	54.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 122	711	△ 328	500	70.3%
1株当たり 当期純利益(円)	△ 13.82	79.93	△ 36.93	56.13	70.3%
1株当たり 配当金(円)	26.00	51.00	15.00	40.00	△ 11.00

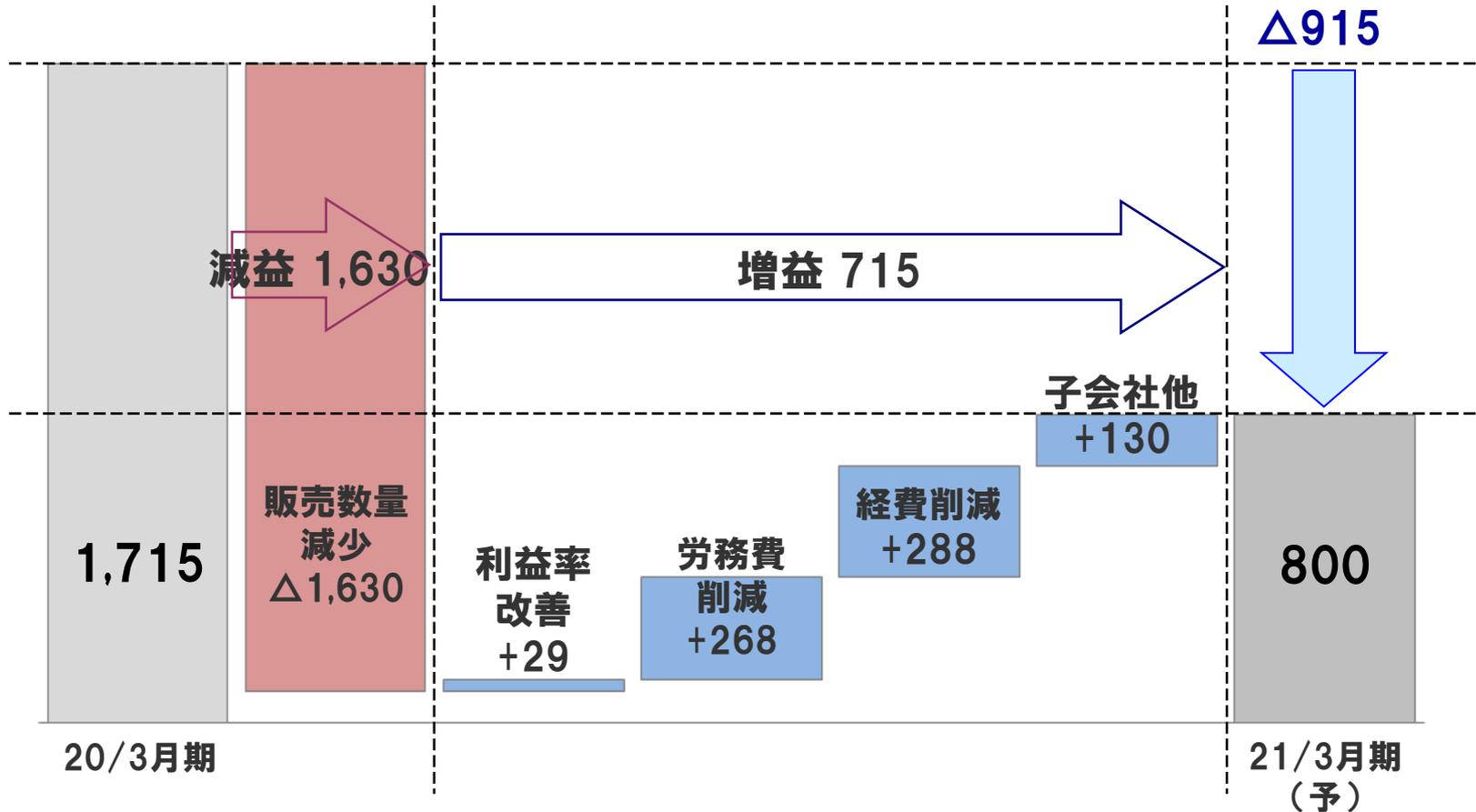
売上高の増減要因 (通期予想)

(単位：百万円)



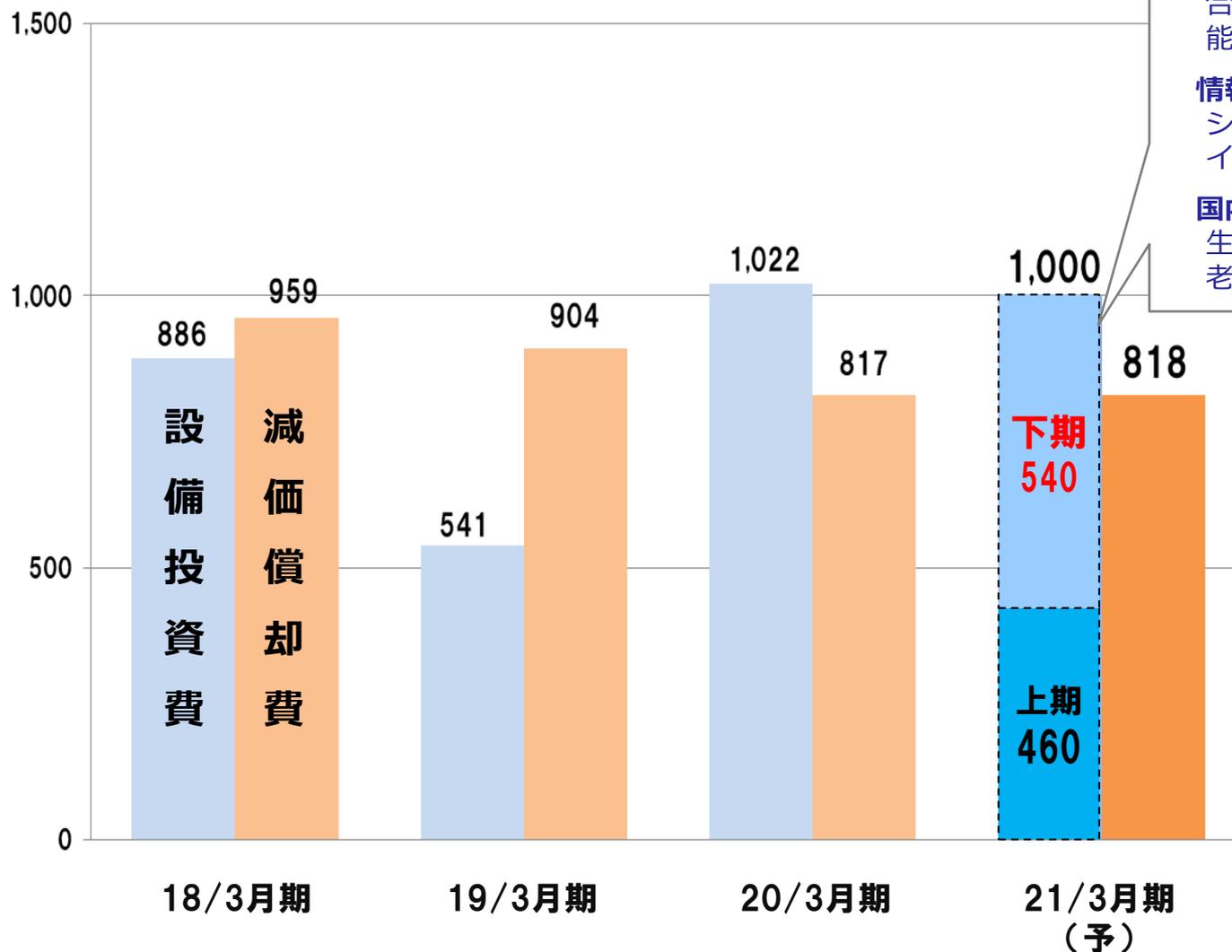
営業利益の増減要因 (通期予想)

(単位：百万円)



設備投資計画

(単位：百万円)



【主な内容 (下期)】

生産設備 1億89百万円

合理化、老朽化、
能力拡大、環境・安全対策

情報システム 3億36百万円

システム構築・入れ替え
インフラ

国内子会社 15百万円

生産設備合理化、
老朽化・省エネ・環境対応



重点施策

● 新たな商品・サービス

働き方の変化

在宅勤務、テレワークの推進

オフィスに求められる価値の変化

ライフスタイルの変化

「快適な生活」 + 「感染予防」

物理的に「仕切る」ということの価値が見直される

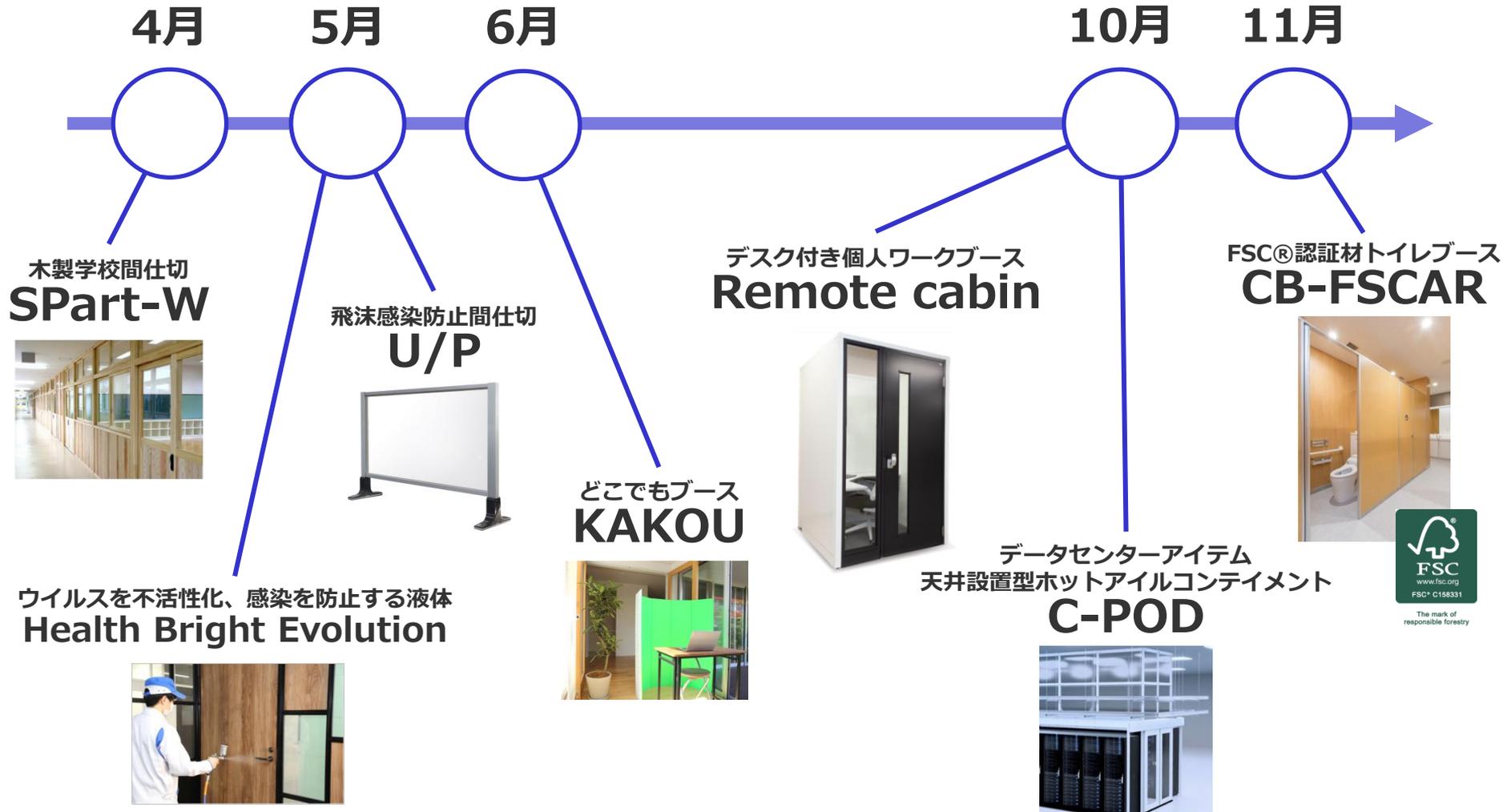
サステナビリティ

事業活動とサステナビリティ

事業活動の成果と世の中への貢献のつながり

※SDGsへの取り組み

2021年3月期 リリース商品



室内や家具等に塗布することで、空間全体のウイルスを5分程度で不活性化させる効果のある天然ミネラル100%の液体

「Health Bright Evolution」

(ヘルス ブライト エボリューション)



	抗ウイルス	接触感染するインフルエンザウイルスなど5分で不活性化
	抗菌	食中毒の原因とされる大腸菌、黄色ブドウ球菌など予防
	防カビ	カビの増殖を抑制
	VOC分解	ホルムアルデヒドなどVOC(揮発性有機化合物)を分解
	防汚	イオン導電性によりホコリが付着しにくくなります
	消臭	酢酸・ギ酸・硫化水素など、臭いの基となる物質を分解



飛沫感染防止間仕切

「U/P (アップ)」



テレワークでも業務を
快適に取り組める

「どこでもブース KAKOU (かこう)」



個人でのオンライン会議や集中空間などオフィスでの新しい働き方に対応したデスク付き個人ワークブース

「Remote cabin(リモート・キャビン)」



地球環境の保全と共生に配慮した材料を使用した
業界初FSC®認証材のトイレブース

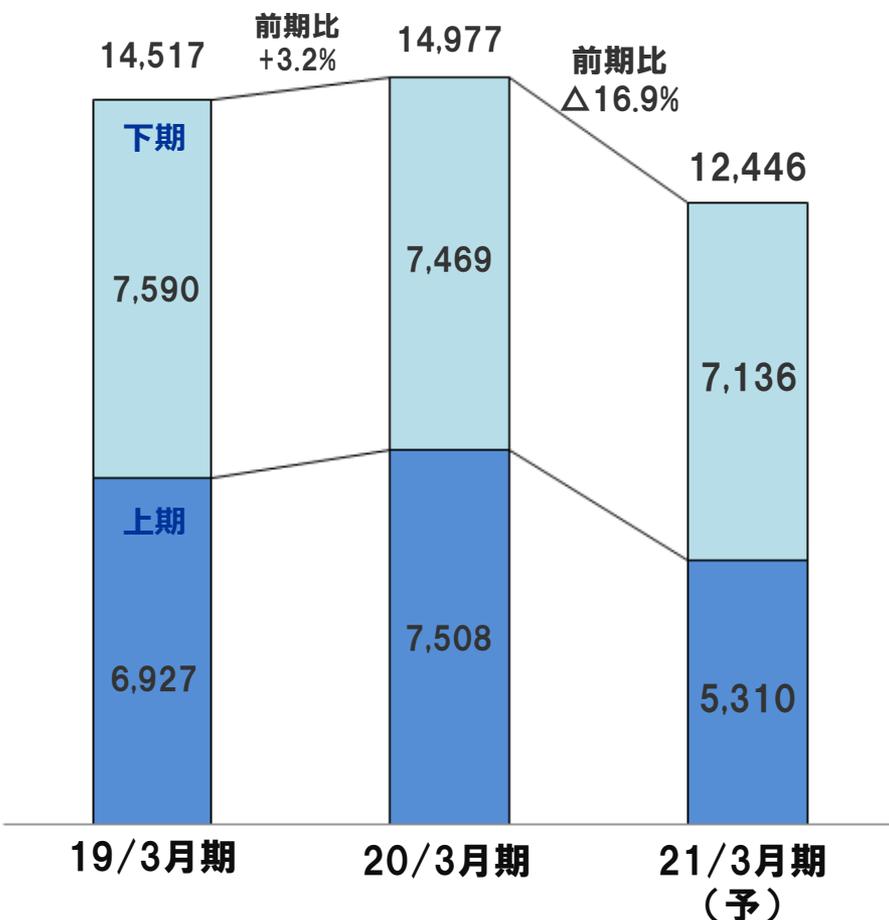
「CB-FSCAR」



The mark of
responsible forestry

※FSC® (Forest Stewardship Council®) とは
限りある森林資源を将来にわたって使い続けられ
るよう適切に管理・調達された林産物に対する国
際森林認証制度です。

【オフィス市場 売上高計画】

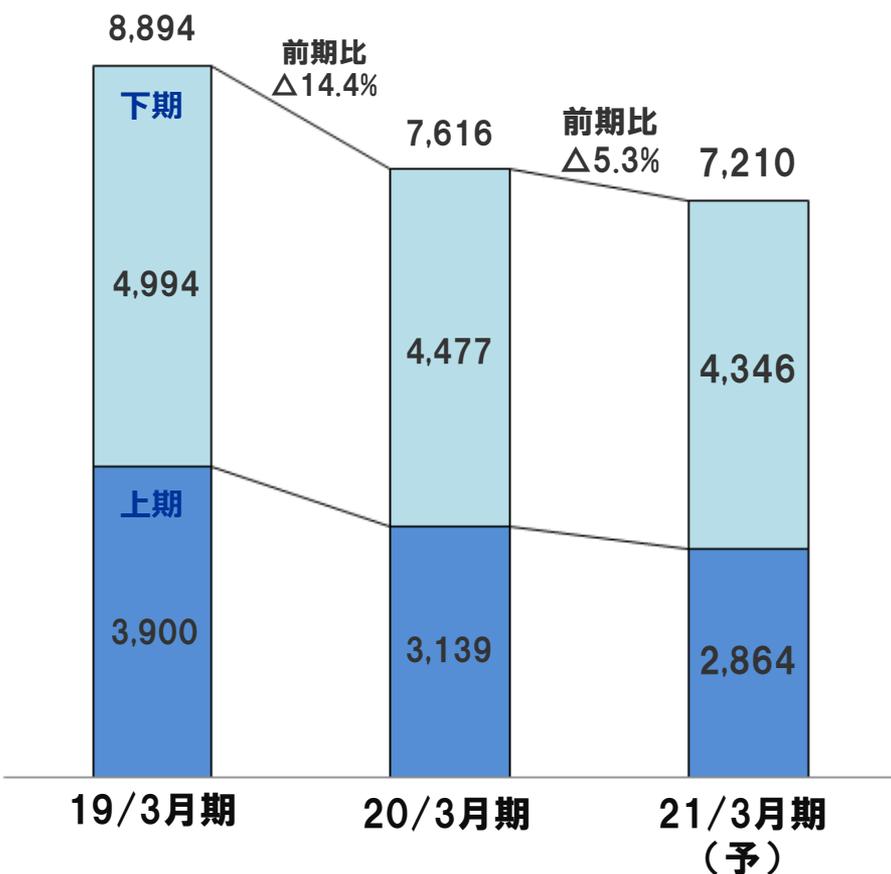


- ・ 感染防止対策を講じた上で、積極的に面談や提案の機会を設け、商談量を拡大
- ・ コロナ対策として発売した新たな商品も交えながら、パーティションによる新しいオフィスのあり方を提案



デスク付き個人ワークブース
「Remote cabin (リモートキャビン)」

【工場市場 売上高計画】



- Synchronによる企業のBCPに対する提案
- 強みであるクリーンルームパーティションの販売強化

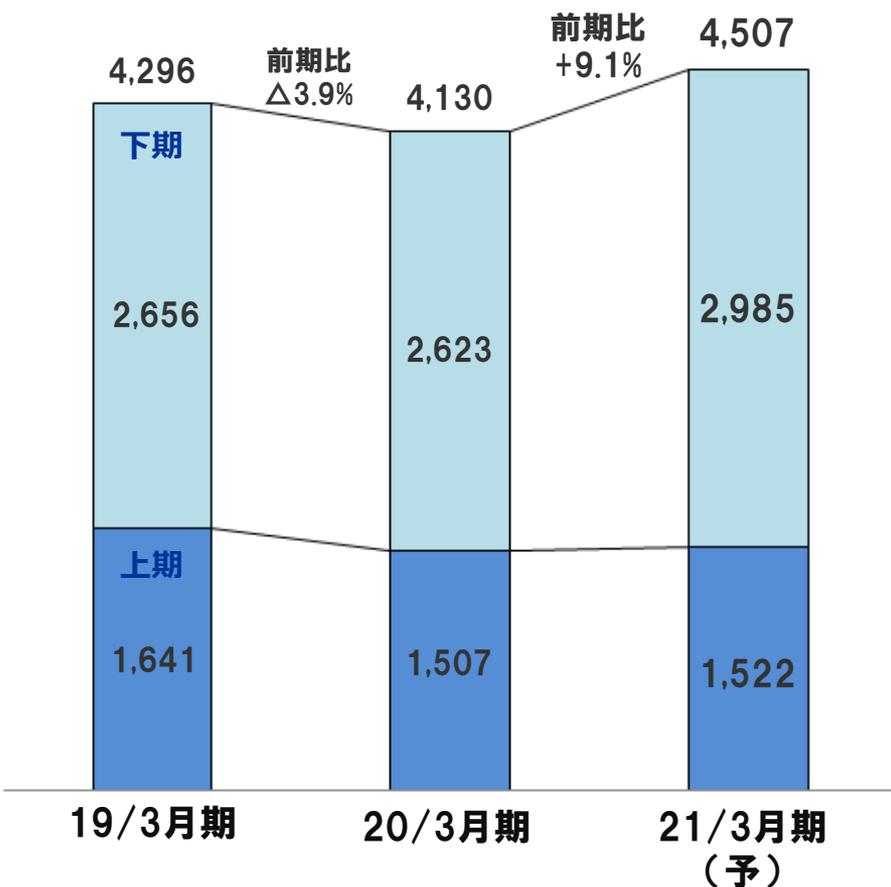


クリーンルーム施工事例

【医療・福祉市場 売上高計画】



- ・ 設計事務所への設計織込活動
- ・ 強みの木製ドア、パーティション+抗菌液体『Health Bright Evolution (ヘルスブライトエボリューション)』を切り口に、感染症対策の困りごとに対して提案を強化



抗菌、抗ウイルス液体
「Health Bright Evolution」

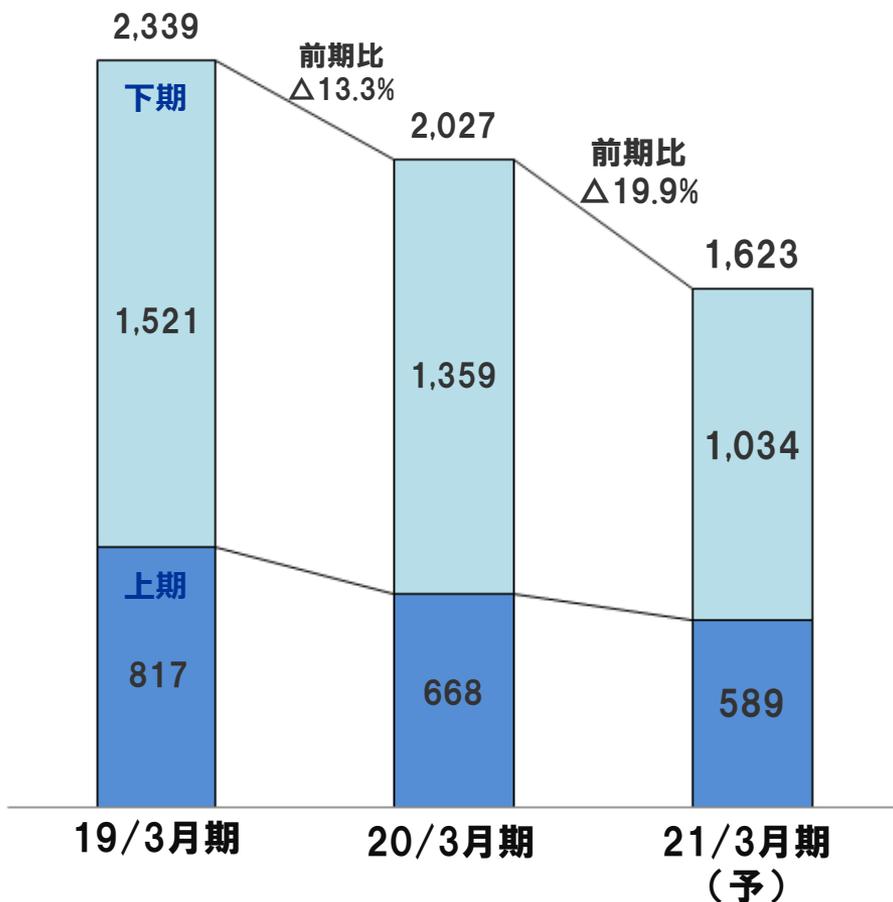


2019年度グッドデザイン賞
「やさしいドア」



「ベッド間仕切」

【学校市場 売上高計画】

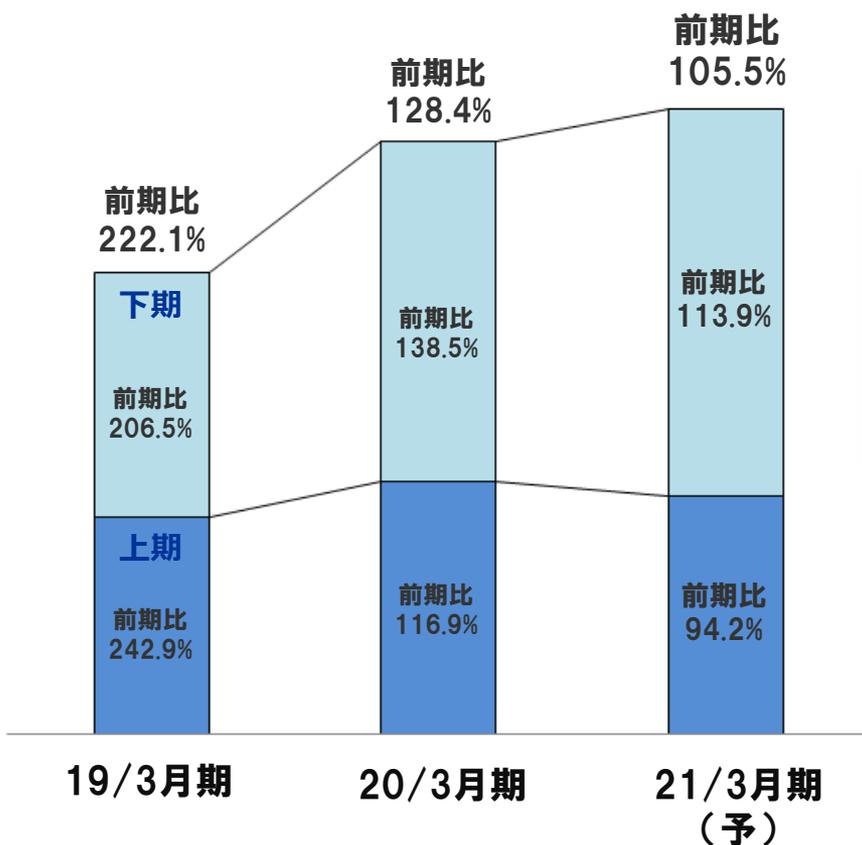


- 夏季休暇の短縮による下期への工事ずれ込みに対応
- トイレの環境改善需要の獲得に向けて活動



学校トイレブース施工事例

【高耐震間仕切『Synchron (シンクロン)』 売上高】



- ・企業のBCP対策＋感染症予防への提案により
前期比増を計画



「EUP-Synchron」納入事例



※加振試験の様子

高耐震間仕切「**Synchron**」導入による『災害時リスク軽減人数』を「**Synchron**」の納入㎡数から独自に算出

約88,200人の災害時リスク軽減に寄与 (2020年9月時点)

(単位：万人)

～『災害時リスク軽減人数』累計～



- ・「Synchron」技術をすべて公開し、業界全体で災害時リスクの軽減を目指す
- ・2030年までの納入を通じて**100万人の災害時リスク軽減**への貢献を進める

我々の事業としての社会的インパクト ⇒ 災害時のリスク軽減に連動

サステナビリティ



コマニー
SDGs ∞ Model
 SDGsメビウスモデル

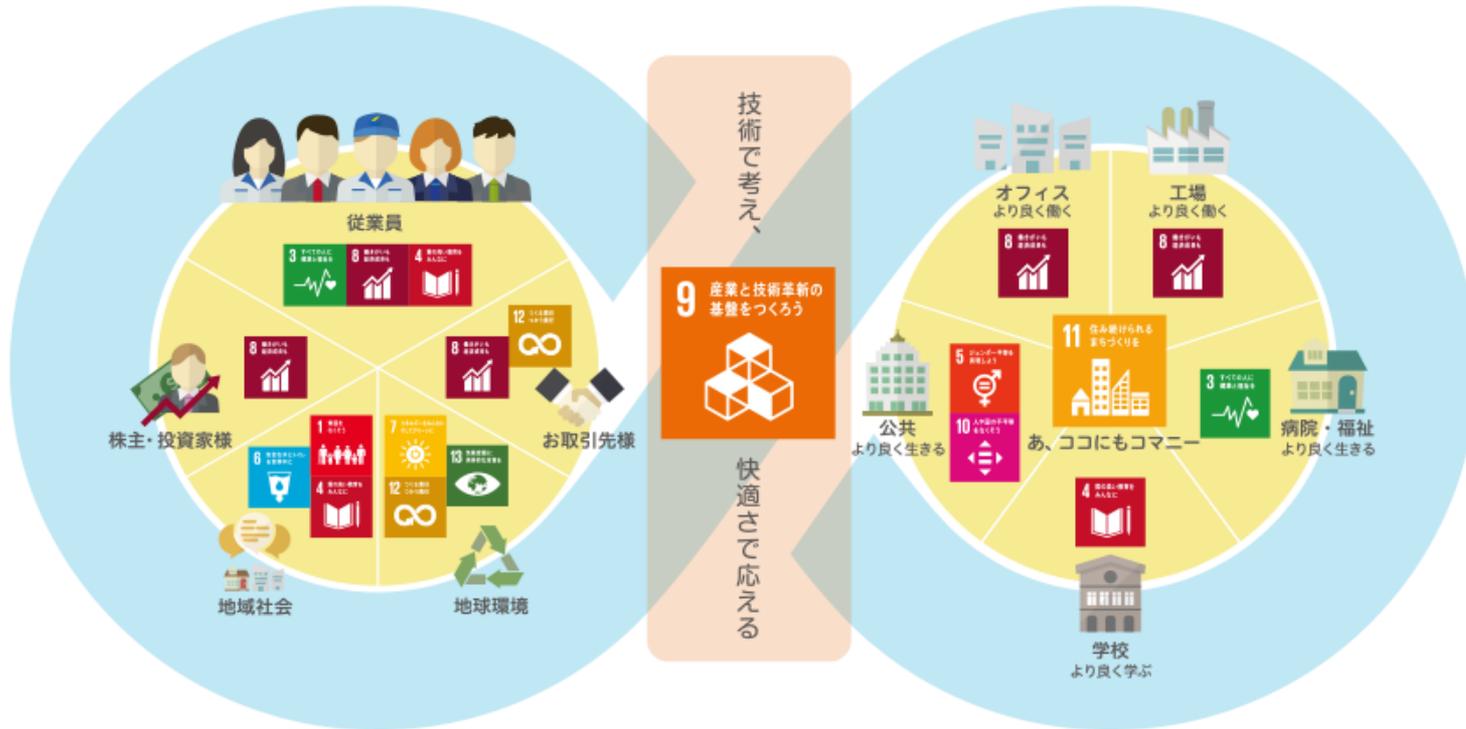
Seeking to strengthen universal peace in larger freedom

- 大きな自由における普遍的な平和の強化を追求 -

全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献する

ガバナンス

プロダクト・サービス

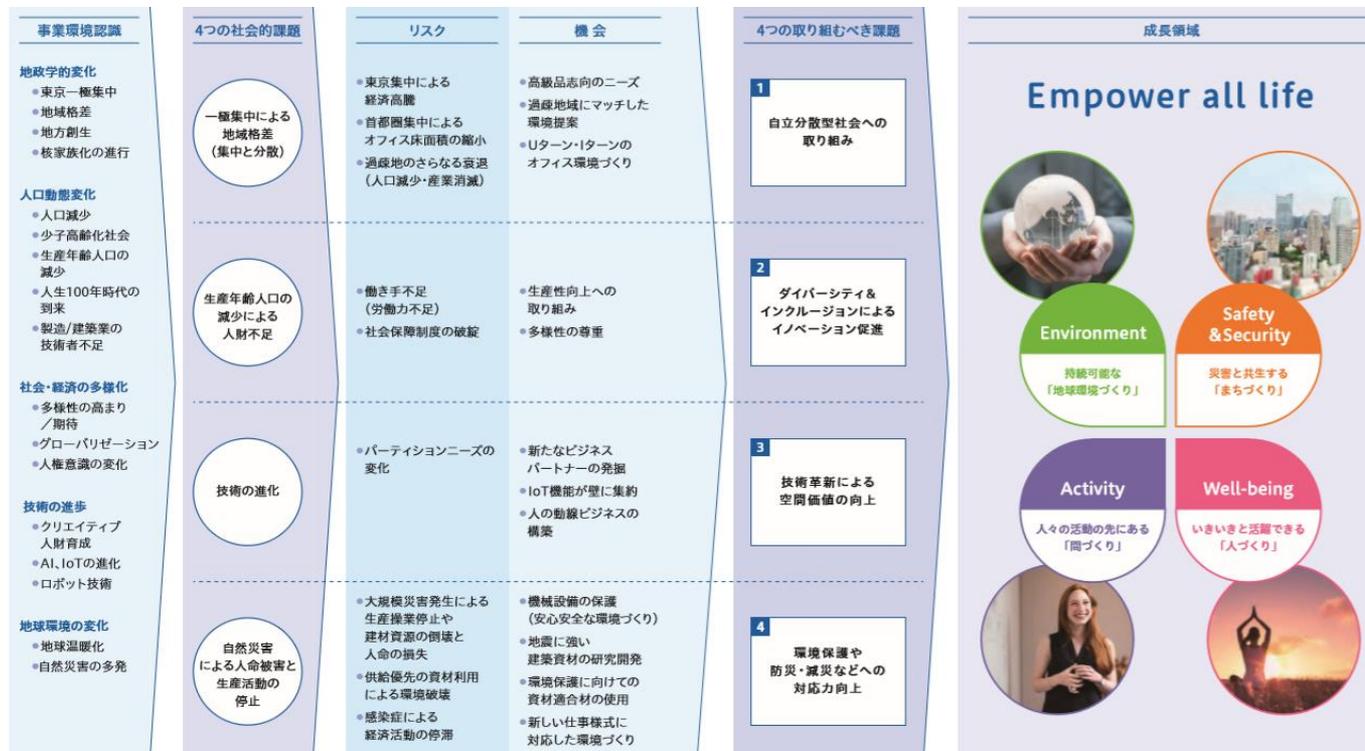


取り巻く事業環境から
4つの社会的課題に分類



事業リスク要因と
成長機会を整理

上記の環境認識のもと、当社グループの取り組みを踏まえ、
4つの取り組むべき課題として整理し、**4つの成長領域**を設定



社会課題の解決を通じ、成長領域における企業価値の向上とすべてのステークホルダーの幸福に貢献する

「Empower all life」 ～一人一人が光り輝く社会に貢献～

すべての人が光り輝く人生を送るために、
より良く働き、より良く学び、
より良く生きるための
持続可能な環境づくり、
人づくりに貢献する

参考資料



社是

我等の精神は人道と友愛である

経営の理念

全従業員^の物心^の両面^の幸福^を追求すると同時に、
人類、社会の進歩発展に貢献する

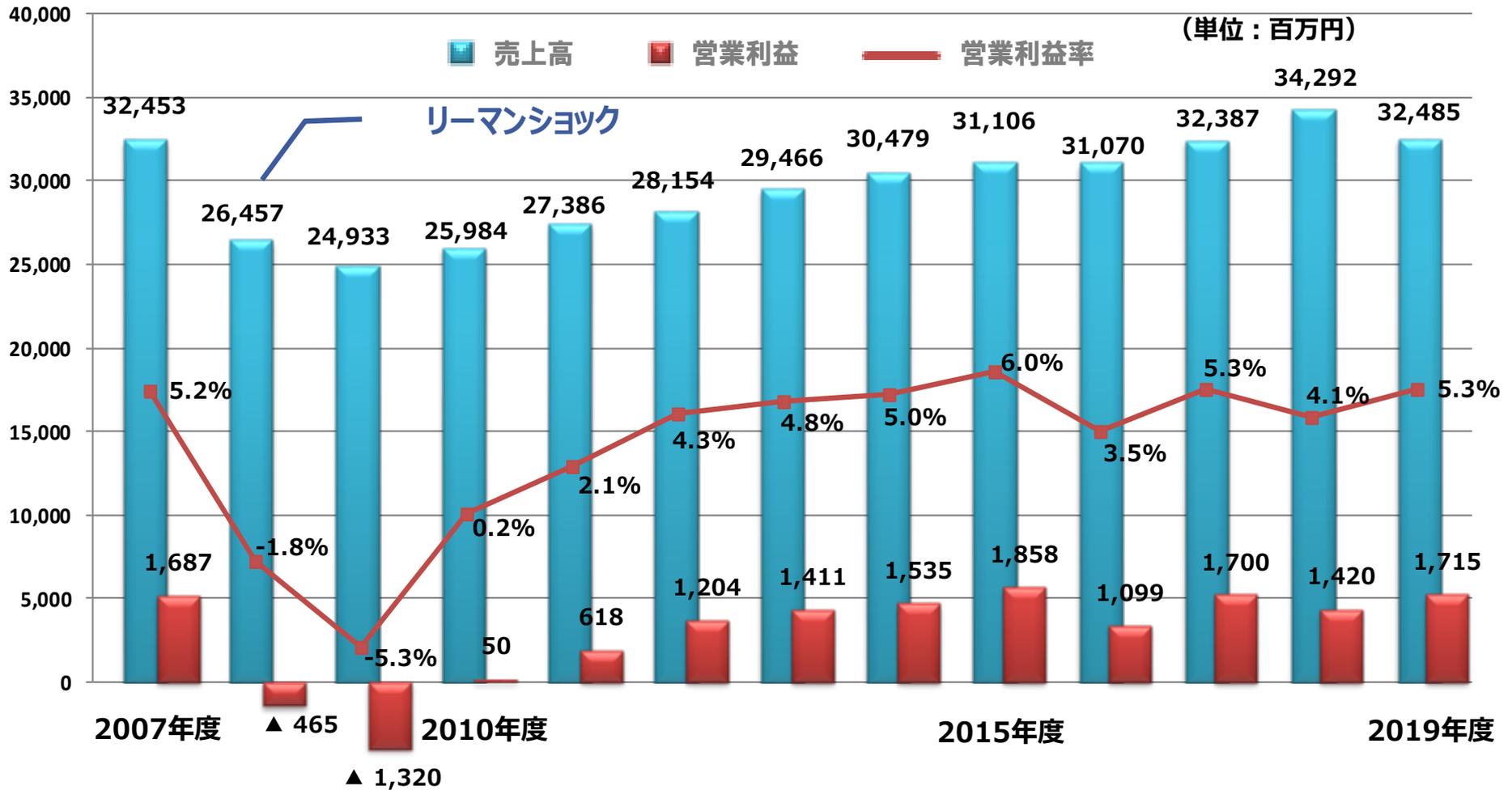
- 商号 コマニー株式会社 COMANY INC.
- 本社 石川県小松市工業団地一丁目93番地
- 設立 1961年（昭和36年）8月18日
- 代表者 代表取締役 社長執行役員 塚本 健太
- 資本金 71億21百万円
- 従業員数 （連結）1,272名 （単体）1,120名
- 事業内容 パーティション（間仕切り）の開発、設計、製造、販売および施工
ならびにパーティション関連の内装工事、建具工事
 - 建築工事業 国土交通大臣許可（特-26）第3669号
 - 内装仕上工事業 国土交通大臣許可（般-26）第3669号
 - 建具工事業 国土交通大臣許可（般-26）第3669号
- 株式市場 東証二部 名証二部 証券コード：7945
- 株式総数 9,924,075株
- 取引銀行 北陸銀行、北國銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、
三菱UFJ銀行、日本政策投資銀行

（2020年9月30日現在）

- 1961年 8月 小松キャビネット株式会社設立
- 1970年 6月 社名を株式会社コマツパーティション工業に変更
- 1980年12月 パーティション業界 売上高第一位達成
- 1984年11月 社名をコマニー株式会社に変更
- 1985年11月 デミング賞実施賞中小企業賞を受賞
- 1989年11月 株式を名古屋証券取引所市場第二部に上場
- 1991年 4月 子会社キャップ株式会社(のちにコマニーエンジニアリング株式会社)を設立
- 1996年10月 1996年度 T P M優秀賞第一類を受賞
- 1996年12月 格満林国際貿易(上海)有限公司を設立
- 1997年 5月 株式会社コマツフラッシュ(現クラスター株式会社)を子会社化
- 1999年10月 1999年度 T P M優秀継続賞第一類を受賞
- 1999年12月 ISO9001認証を取得
- 2001年11月 ISO14001認証を取得
- 2007年 4月 南京捷林格建材有限公司を子会社化
- 2012年 2月 格満林(南京)新型建材科技有限公司(中華人民共和国)を設立
- 2015年 6月 東京証券取引所市場第二部に上場
- 2016年 9月 ユニバーサルデザイン折り戸「Dear-d(ディアード)」が2016年度グッドデザイン賞を受賞
- 2017年11月 ISO9001およびISO14001認証を2015年版に更新
- 2018年 4月 子会社コマニーエンジニアリング株式会社を吸収合併
- 2018年 4月 「コマニーSDGs宣言」を表明
- 2018年 4月 国連グローバル・コンパクトに署名
- 2018年 8月 健康経営優良法人2019(ホワイト500)を認定取得
- 2019年 2月 「コマニーグループ人権方針」を策定
- 2019年 6月 小松市と「SDGs推進に関するパートナー協定」を締結
- 2019年 6月 次世代認定マーク「くるみん」を取得
- 2019年10月 やさしいドアシリーズが2019年度グッドデザイン賞を受賞
- 2019年10月 再エネ100宣言RE Action 加入
- 2019年11月 グリーン購入大賞(大企業部門)受賞
- 2020年 1月 格満林(南京)新型建材科技有限公司(中華人民共和国)を譲渡
- 2020年 3月 健康経営優良法人2020を認定取得
- 2020年 3月 JMAQA AWARDS 2020受賞
- 2020年 4月 SBTイニシアチブから認定
- 2020年 7月 FSC認証を取得



連結業績の推移（売上高・営業利益）





<ご案内>

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は資料作成時点での弊社の判断であります。その情報の正確性を保障するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。